

土壤還元（ワキ）が進んでいる圃場は直ちに水交換を！ 有効茎を確保したら速やかに中干しを実施！

稲の生育は概ね平年並みですが、田植え後高温、少雨で経過したため、土壤還元（ワキ）が進んでいます。ワキが発生している圃場では、直ちに水交換や田干しを行いましょう。

目標茎数を確保したら、速やかに中干しへ移行します。特に茎数の多い、葉色の濃いほ場では、遅れず早めの中干しを実施しましょう。

1 か月予報（6 月 7 日発表） 6/9～7/6

気温：6/9～6/15：低い確率 60% 6/16～6/22：平年並み 50% 6/23～7/6 平年並み 40%

降水量：平年並み 日照時間：平年並み

生育状況（6 月 11 日現在）

平坦部「はえぬき」の生育（6 月 11 日、農業技術普及課生育診断ほ）

項目	川西町		飯豊町		概況
	調査値	平年比（差）	調査値	平年比（差）	
草丈(cm)	29.7	107	29.5	102	草丈：平年並み～やや長い
茎数(本/m ²)	265	96	304	109	茎数：平年並み～やや多い
葉数(L)	6.0	-0.3	7.1	0.2	葉数：平年並み

「つや姫」の生育（6 月 11 日、農業技術普及課生育診断ほ）

項目	川西町		飯豊町		概況
	調査値	平年比（差）	調査値	平年比（差）	
草丈(cm)	29.3	103	31.6	106	草丈：平年並み～やや長い
茎数(本/m ²)	244	110	314	130	茎数：やや多い～多い
葉数(L)	6.5	0.4	7.2	0.4	葉数：やや多い

分けつ促進！

○基本的な水管理

6 月は、穂となる有効茎を確保する時期です。6 月下旬までに発生した分けつは、有効茎となり良い穂が実ります。分けつ促進のポイントは 2 つ！

- ① 浅水管理（水深 2～3cm） ② 昼間止水・夜間かんがい

○ワキが発生したら、速やかに水交換や一時的な落水（2～3 日の田干し）を行う。

茎数不足の場合は、水交換または夜間のみ落水

（除草剤散布後 7 日間は落水しない 必ず止水）

◎ 農薬を使用する際には使用基準を再確認し、正しく使いましょう。

目標茎数を確保したら、速やかに**中干し・作溝**を行いましょ

○中干し：遅くとも**6月25日**には開始！

目安は小ヒビが入る程度
葉色が濃いほ場・・・強めに

○中干し終了後：走り水で飽水管理した後、徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替える（根の活力維持）

中干しが不十分

登熟期に根の活力が低下しやすく、品質・食味にマイナス

表1 品種別の目標茎数の目安（本/株）

品種	1株あたりの目標茎数
	坪70株植えの場合
はえぬき	23本
つや姫	20本
雪若丸	23本
ひとめぼれ	24本
あきたこまち	22本

	60株/坪	70株/坪
コシヒカリ	23本	20本

【作溝・中干しの効果】

- ◎ 酸素供給による根の活力向上
- ◎ 土壌窒素の中断 → 無効分げつを抑える
- ◎ 間断かんがいの効率化 → 地耐力の向上

葉いもちには十分注意しましょ！

葉いもちを抑えることが穂いもちを抑える一番の対策

○置き苗は、早急に処分しましょ！

○育苗箱施用剤を使用していない場合は、

6月20日までに予防粒剤を散布しましょ

○梅雨時期・・・いもち病の感染に好適な日が増加

水管理を行う際等、しっかりほ場を観察し、早期発見・早期防除



葉いもち病斑

既に斑点米カメムシ類の発生やが多い！（病害虫防除所調査より）

○地域全体でカメムシの密度を減らすことが重要

○7月20日頃まで、畦畔・農道、雑草地の除草（草刈）を地域ぐるみでしっかり行う

○水田内のイヌホタルイやノビエの残草対策もしっかり行う

（アカスジカスミカメの発生源です）



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ



アカスジカスミカメ

農作業事故・熱中症に注意！

◎ 「もうちょっと・・・」という無理が重大事故につながります。

◎ 暑い日が続いています。熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょ！